

( 令和3 ) 年度 参 加 人 数 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市西野 ) 児 童 館

活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題			
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人						
③行事活動																	
・児童館ルール説明会																児童館のルールやおもちゃの使いかなど、児童館での約束を知る	
・交通安全教室	1	0	0	62	1	19	0	2	0	0	0	84			山科警察署の交通課の方による集団下校時の危険箇所や交通ルールについて講話と見送り		
・七夕会	1	0	1	65	0	10	0	0	0	0	0	76			世界の七夕伝説についてホームページで話を聞く	季節感が味わえ、子ども達は喜んで、今後も続けていく。	
・夏のおたのしみ会	1	0	0	66	0	18	0	0	0	0	0	84			高学年クラブによるコーナーや駄菓子づくりコーナーなどを自由にまわる		
・クリスマス会	1	0	3	58	2	7	0	2	0	0	0	72			高学年クラブによる演奏やマジックを招いてのマジックショーを楽しんだ	来店で本格的な手紙を贈って大喜びだった。	
・お正月あそび	2	0	0	54	1	9	0	0	0	0	0	64			季節のあそびやお正月ならではの遊びを知る	季節感が味わいながら、楽しんで参加していた。子ども達の遊びの幅が広がった。	
・かるた大会	1	0	0	19	1	4	0	0	0	0	0	24			トーナメント戦でかるたを実施し、各学年で上位3名を決めて表彰	子どもたちの関心度が高く、真剣に取り組んでいた。今後も実施したい。	
・お楽しみ会	1	0	0	47	1	6	0	0	0	0	0	54			みんなで「いひどる」を楽しむ	全員で遊ぶ機会が少なかったため、とても喜んでた。	
・避難訓練（火災）	2	0	0	91	0	15	0	0	0	0	0	106			火災時を想定した避難訓練	子どもだけでなく、職員も確認できたのでよかった。	
・避難訓練（地震）	2	0	0	103	0	17	0	0	0	0	0	120			地震発生時の避難と避難時の経路確認	2回目は実施日を公表せずに、抜き打ちで行なったが恐ろしくなりました。	
・避難訓練（不審者）	2	0	0	61	0	7	0	0	0	0	0	68			児童館に不審者が侵入した時の対応と避難の訓練	緊張感を持ちながら参加するように促していく必要がある。	
・避難訓練（地震・火災）	3	0	0	115	0	11	0	0	0	0	0	126			地震発生後に火災が起こった場合の避難訓練	早く避難できるように今後も指導が必要。	
・避難訓練（水害）	2	0	1	81	2	5	0	0	0	0	0	89			大雨洪水警報が発令した場合の訓練	雨天時に行なったためスムーズに小学校前まで避難できたが、実施は移動が難しいことが想定される。	
・イカのおすしのおはなし	1	0	0	60	0	13	0	4	0	0	0	77			生活安全課のスクールリーダーによる講話と避難訓練	子どもたちだけでなく、職員の間でも深い機会になってよかった。	
・すてきばんく	3	0	6	139	5	25	10	1	0	0	0	186			児童館利用者（地域の方言む）の特技を生かす事業。今年度は「たましのひみつ」と「サイエンスショー」「サッカー教室」	児童館の特色を伝えることで、その児童がすてきに喜んでた。地域関係を生かせるよい事業なので今後も続ける。	
・おはなしタイム	9	0	2	491	0	63	0	0	0	0	0	556			職員による絵本の読み聞かせ	全員により関心を持って聞かせる機会がないため、毎回話しそらに聞いている。絵本の理解もできるのでは今後も続ける。	
・節分会	1	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12			節分まつり話の話を聞いた後に鬼へ豆まきする	由来を知り意味を理解した上で伝統行事を行うことは大切なので、今後も実施していきたい。	
④クラブ活動																	
・将棋クラブ	16	0	28	95	5	8	0	5	0	0	0	141			コロナ禍のため、山科と金クラブの力によるクラブは一度のみとなりました。	将棋好きな子が多く参加し取り組んでいた。	
・高学年クラブ	37	0	0	0	22	154	0	0	0	0	0	176			児童館行事の手伝い、コーナーの企画・準備・当日の運営など	高学年の役割の幅が広がる中、自分たちで決めたことを最後まで責任をもって取り組んでいた。	
・チャレンジクラブ	21	0	2	243	0	34	0	0	0	0	0	279			けん玉・お手玉・こま・なわとびの検定	検定に向けてがんばって練習している姿が見られた。次年度も続けていく。	
・書道クラブ	1	0	2	5	0	1	0	0	0	0	0	8			大きな横断紙に、自由に大きく伸びのびと書いて楽しんだ	講師との関係が深まり書道が一度きりではなく続いた。	
・きりえクラブ	20	0	24	70	5	8	0	0	0	0	0	107				講師との関係が深まり書道が一度きりではなく続いた。	
⑤地域交流促進活動																	
合 計	127	0	69	1875	45	434	10	14	0	0	0	2318					
推 進 活 動																	
合 計																	
子ども育成機能 合 計	127	0	69	1875	45	434	10	14	0	0	0	2318					

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

( 令和3 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 京 都 市 西 野 ) 児 童 館

活動名	実施回数	参加人数											内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
1乳幼児とその保護者を対象とする活動															
①乳幼児クラブ活動															
・もりもりクラブ	16	109	0	0	0	0	0	107	0	0	0	216	年度内に2歳になる幼児とその保護者を対象とした登録制クラブ。	コロナ禍の影響で10月から開始。参加者の出席率が低かった。	
・けろちゃん	16	114	0	0	0	0	0	112	0	0	0	226	1歳前後の幼児とその保護者が対象。体操・手あそび・読み聞かせや設定あそびなどを実施。	コロナ禍の影響で初めは少なかったが、徐々に参加者数は増えた。	
・おたまちゃん	16	85	0	0	0	0	0	87	0	0	0	172	0歳から1歳の乳児と保護者を対象。ふれあいあそびや設定あそびを月1回実施。	継続の参加者が多く、よい雰囲気で行なえた。実施していきたい。	
②乳幼児広場の活動															
・ランチデー													児童館で昼食を取れる日。児童館より1杯20円で飲み物も提供。	感染症拡大防止に伴い中止	
・ペンギン広場	54	300	0	0	0	0	0	299	0	0	0	599	児童館の大型遊具などで自由にあそぶ。	新しい遊具も増やし、今年度は昨年度よりもほぼ毎日参加があった	
2家族参加を促す活動															
・産後ケア	7	11	0	0	0	0	0	20	0	0	16	47	元幼児クラブの保護者が講師になり、参加者に産後の身体ケア方法を伝授。	実施月によっては、参加者が少ない時もあるため、引き続きしっかり広報していく。	
・アタッチメント&ベビーマッサージ	5	21	0	0	0	0	0	23	0	0	0	44	その間、子どもは別室にて民生委員の方や社協の方にお手伝いいただき託児する。	触れることの大切さを知ってもらい、親子の絆を深める。	
・リトミック	1	10	0	0	0	0	0	11	0	0	0	21			
・乳幼児クリスマス会	1	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	20	クリスマスに関する手あそびやふれあい遊び、工作を実施。サンタからプレゼントをもらう。	季節ならではの取り組みとして今後も実施していく。	
・べったんアート	3	30	0	0	0	0	0	29	0	0	0	59			
・スクラップ教室	3	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	20	いろいろな方法でスクラップブックの制作を行なう。	写真を活用した取り組みは好評なため、次年度も続けていく。	
・みんなはなまる講座	2	4	0	0	0	0	0	7	0	0	6	17	保育士による子育て支援拠点事業		
・にしのっこ広場	1	6	0	0	0	0	0	7	0	0	0	13	講師の方による講演を実施。		
・おしゃべりサロン	7	21	0	0	0	0	0	25	0	0	8	54	同室で託児しながら、お母さんの悩み事など気軽に話せる場を提供。		
合 計	132	731	0	0	0	0	0	747	0	0	30	1508			
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等	件数	
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	0 0 0 8 0 0 0 0	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他					8 0 0 0 0 0 0	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			3 3 5 0 0 0	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他	0 0 0 1 7 0 0 0	
	件数 計	8	-					8	-			11	-	8	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容					育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題				
推進活動	活動名	実施回数	活 動 内 容					成 果 と 課 題							
	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動		はぐくみ室の方に来ていただき、利用者の子育て相談に応じていただく。					相談に応じてもらい、利用者も満足された。また、行事に参加している親子の様子を見てもらい、気になる利用者に積極的に関わっていただけたことがとてもよかった。情報共有できる機会にもなっている。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。



地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			・子育て支援部会		京都市社会福祉協議会		1回	・4ヵ月健診について ・各館の乳幼児事業・来館者 人数の現状について	・コロナウイルス感染拡大 防止に伴い、実施できな かった。
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題
能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい曜日を聞き、集まりやすい曜日を把握し日程調整を行ない、参加が増えるようにしていく。</li> <li>・こんな行事を増やしてほしいなど、保護者のニーズに応じた内容も取り入れ、参加者に満足してもらえるように今後も工夫していく。</li> <li>・利用者の意見も積極的に取り入れていきながら、児童館をたくさん利用してもらえるように今後も取り組んでいく。</li> </ul>		

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	・児童館だより	毎月	地域住民 小学校全児童 乳幼児保護者など	・各地域への回覧 ・小学校各クラスに配布	・毎月の行事の広報や申し込み受付日の記載	地域の回覧と小学校で配布していただき、情報が広く周知されてよい。実際に回覧をみて参加された方もおられた。今後も継続していく。
	・学童クラブだより	毎月	学童クラブ登録児童・保護者	・学童クラブ内で配布	・毎月の行事日などの記載	子ども達のあそびの様子を分かりやすく記載し、楽しんで目を通してもらえるように作成できた。
	・乳幼児さんの活動案内	年1回	乳幼児保護者	・乳幼児行事時に配布	・乳幼児向けの事業の紹介と内容を細かく記載	初めて利用する方が理解できるように、紹介と内容を細かく記載してよかった。継続していく。
	・毎月の行事の案内	毎月	利用者や地域の方々	・西野児童館入口前の掲示板に掲載	・毎月の行事案内	掲示板に掲載することで、児童館を利用したことがない方でも見ることができるのでよい。QRコードから児童館ホームページにつながるように掲示をし、メモなどを持っていなくても、予定を見ていただけるようになった。
	・毎月の行事の案内	毎月	利用者や地域の方々	・京都市児童館ホームページに掲載	・毎月の行事案内	必要に応じて頻繁にホームページの更新を行なえた。

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市西野 ) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席確認、連絡帳の提出の徹底</li> <li>帰宅指導</li> <li>熱中症の対策</li> <li>おやつ前の手洗い、うがい、消毒の徹底</li> <li>館内清掃</li> <li>来館時の検温測定の徹底</li> <li>学習時間の設定</li> <li>午睡時間の設定（夏休み）</li> <li>挨拶の励行</li> <li>整理整頓、片付けの習慣化・児童館の物を大切に使う</li> <li>長期休業中や土曜の過ごし方</li> <li>避難訓練(火災・地震・不審者・地震と火災・水害)</li> <li>台帳のファイルに個人記録簿を綴じる</li> <li>支援シートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は4月初、全員に連絡帳を毎日提出し連絡帳提出の習慣づけを徹底してきた。しかし出し忘れる児童がいたため、引き続き声かけは必要。</li> <li>帰宅指導期間中は帰りのグループ毎に職員が付き添い、子どもたちが集団で帰る意味を認識できるよう指導。また、危険箇所を子どもにも認識させ安全指導も行なう。</li> <li>外での活動時や館外事業などの際は、帽子の着用とこまめに水分補給するよう促した。館内で自由においしい水が飲めるように「ひやりん(浄水器)」を設置した。</li> <li>感染予防のために手洗い、うがい、消毒を励行し、自ら進んで出来るようになった。</li> <li>開館時と閉館前の職員による掃除に加え、各部屋にデパイス(消毒剤噴出機)を設置し夜間に消毒を行なうほか、行事後に適宜デパイスを作動させ消毒をしている。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅から直接児童館に来館した時は必ず検温測定を行なった。</li> <li>帰館後20分の学習時間を設けることで、情緒を安定させる時間にもなっている。また、日常の学習習慣も身につけてきている。</li> <li>夏の気温の暑さと長時間過ごしていることでの疲れを取るために午睡の時間を取っている。</li> <li>児童館帰館時に「ただいま」と自ら進んで挨拶できるように促すことは引き続き必要である。</li> <li>年間を通して整理整頓や使用した物の片づけを促してきたが、整頓が苦手なことからできていない児童もいた。次年度も引き続き声かけを徹底していきたい。</li> <li>長期休業中や土曜の午前中に静かに過ごす時間を徹底し、生活の流れにめりはりを持たせてきたことから、生活リズムの習慣がついてきた。次年度も引き続き実施していきたい。</li> <li>避難訓練(火災・地震・不審者・地震と火災・水害)では、緊急事態の状況に応じた対処を学ぶことができた。今後も継続して行なっていく。</li> <li>職員間の情報共有で活かすことができた。</li> <li>配慮の必要な子の支援シートを作成し、過去～現状を把握した上で今後の見直しをもって支援していけるように意識できた。</li> </ul>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生会・おはなタイム</li> <li>エコ活動</li> <li>クリスマス会等の季節の行事</li> <li>班活動</li> <li>当番活動</li> <li>下館指導</li> <li>入会式</li> <li>修了式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍による規模縮小はあったが、誕生日を祝うということは毎月行なった。</li> <li>活動日だけでなく日々の声かけもあり、職員が細かく指導をしなくても、ゴミを小さくまとめ、きちんと分別ができるようになった。</li> <li>コロナ禍により、十分な活動は行えなかった。</li> <li>みんなの前におやつ当番をすることで、子ども同士の教え合う姿が見られたり、責任感を育むことができた。</li> <li>2年生以上は新しい学年に進級したことをらまえ、目標を決めみんなの前で発表をし、気持ち新たにがんばっていく意識付けができた。</li> <li>学年最後に自分を振り返るきっかけや、今後の目標を考える機会となった。</li> </ul>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたよりの発行</li> <li>連絡帳の活用</li> <li>保護者懇談会</li> <li>学童クラブ登録申請書配布</li> <li>学童クラブ登録申請書受付</li> <li>入会説明会</li> <li>個別対応・個別相談</li> <li>小学校・保育園との連携</li> <li>はぐくみ室との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入会に関わる説明をしながら安心して入会していただけるよう保護者の方々とは話す機会となった。</li> <li>保育園の保育士の方に「はなまる講座」を実施していただいた。講座前後に保育士の方と交流もできて、よい機会になった。</li> <li>特に1年生の担任教諭とは子どもの様子について情報共有できる機会がたくさん取れたので、お会いできた時に気軽に話せる関係づくりはできた。</li> </ul>

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市西野 ) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
(1) 生活援助機能																
・あいさつ 手洗い うがい 消毒(検温)	毎日	6827	4181	1626	1697	32	0	0	0	0	0	0	0	14363		
・連絡帳提出 学習 言葉遣い 整理整頓	毎日	6827	4181	1626	1697	32	0	0	0	0	0	0	0	14363		
・おやつ提供 当番活動	毎日	6827	4181	1626	1697	32	0	0	0	0	0	0	0	14363		
・館内清掃	毎週土曜	221	249	82	35	1	0	4	2	0	0	0	1	595	育成室・廊下・図書室に分かれて、拭き掃除や本とおもちゃの整理整頓をする。	
・ロッカーそうじ	毎週金曜	1287	808	264	237	0	0	0	0	0	0	0	0	2596	ロッカーに入れている荷物の整理整頓と拭き掃除をする。	
(2) 子ども育成機能																
・入会式練習	2	30	22	14	19	2	0	0	0	0	0	0	0	87	学童クラブに入会する児童を対象とした式。自己紹介、目標発表(2年生以上)、学年ごとの記念撮影を行う。	
・入会式	1	35	30	18	16	2	0	0	0	0	0	0	0	101	入会式に向けて事前に練習をする。	
・誕生会	10	271	186	50	66	0	0	0	0	0	0	0	0	573	学童クラブ登録児童の誕生会を実施。	
・絵画制作	1	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	7	職員やクラス担当が読み聞かせを行なう。	
・エコ活動	9	254	133	47	42	0	0	0	0	0	0	0	0	476	おやつ時にエコの分別について学び、実践する。	
・つくるーぶクラブ	27	163	88	25	30	0	0	0	0	0	0	0	0	306	学童クラブ登録児童対象のクラブ活動。色んな制作に取り組む。上級生は1年生の補助もする。	
・似顔絵制作	3	17	30	15	8	0	0	0	0	0	0	0	0	70	先生の顔を子どもたちが描く。完成後は玄関に掲示し来館者に児童館の先生を知ってもらおう。	
・水でっぼう作り	1	31	23	15	16	2	0	0	0	0	0	0	0	87	翌日の水あそびで使用する水鉄砲をペットボトルで制作する。	
・水あそび	1	33	24	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0	86	水着に着替え、運動場で水あそびを楽しむ。	
・アルバム制作	9	48	14	4	17	0	0	0	0	0	0	0	0	83	1年間の修了記念として1冊のアルバムを自分で仕上げる。	
・大そうじ	1	22	12	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	39	年末・年度末など、節目の時期に全員で分担し掃除を行なう。	
・修了式	1	27	16	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	54	スライドショーで1年間を振り返り、一人ひとり修了証書と記念品を授与する。	
・1年生机出し指導	2	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	学童机の出し方と片付け方を説明し実際に行なう。3月中は必ず二人で進ぶように約束している。	
(3) 子育て支援機能																
・保護者懇談会(7月)	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	28	夏休みの過ごし方を伝えた後に、スライドショーを通して子どもたちの様子を伝えることができた。	
・児童館登録申請説明会(1月)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	次年度の申請書類の書き方や必要書類について、新1年生の保護者を対象に実施した。	
・新年度説明会(3月)	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	27	次年度の学童クラブ入所についての説明を実施した。	

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること